

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	オスグッド-シュラッター 病の発症要因の検討		
1. 研究の目的と方法	オスグッド-シュラッター病は成長期のアスリートに起こりやすい疾患で、脛骨粗面部（膝のお皿の下の骨）が徐々に突出してきて、痛みが出てきます。跳躍動作やボールを蹴るなどの動作により、膝蓋腱の牽引力が脛骨粗面部にかかり、軟骨や骨が裂離することで生じます。オスグッド-シュラッター病の発症予防や治療のために、身体的特徴、超音波所見と発症の関連性について研究を行い、発症要因を明らかにすることを目的といたします。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2028年12月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	三菱養和ジュニアユースサッカークラブ所属の小学6年生および中学1～3年生		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	アンケート結果、身長、体重、BMI、身長および体重の年間の増加量、脛骨粗面部の隆起および圧痛の有無、柔軟性の評価結果（下肢伸展拳上角度、殿踵間距離、股関節可動域）、脛骨粗面部の超音波画像（骨成長度の評価、骨不整像や骨片裂離の有無の評価）	
	(4) 情報の取得の方法	検診記録から検診時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 整形外科学講座
		氏名	村山雄輔
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

<p>6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて</p>	<p>この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2021年4月～</p>
<p>【問い合わせ先】</p>	<p>機関名：東京慈恵会医科大学 整形外科学講座 研究責任者：助教 村山 雄輔（むらやま ゆうすけ） 電話番号：03-3433-1111（内線：9217） 対応時間：平日9：00 ～ 17：00</p>

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。